

独立行政法人国立環境研究所契約監視委員会（第7回）議事概要

1. 日時：平成26年6月16日（月）16:00～18:00

2. 場所：AP秋葉原1階0室

3. 出席者：野村委員長、古米委員、西山委員、小林委員、渡辺委員

4. 議事概要

(1) 前回議事概要の確認及び意見への対応について

事務局より前回契約監視委員会の議事概要及び出された意見への対応案について説明を行った。

(2) 平成25年度の契約の状況について

事務局から平成25年度の契約の状況総括表について説明が行われた後、随意契約、契約審査委員会審査案件、関連公益法人との契約について説明を行った。

各委員からの主な意見は次のとおりである。

① 毎年度同種の随意契約が続いている案件について

随意契約の一覧表を見ると昨年度と同様の業務内容の随意契約があるように見受けられる。複数年契約が可能なものについては、複数年契約の導入を行えば随意契約の件数も減少し、契約事務手続きの手間も減るのではないかと。

② 当初契約でソフトウェアを開発した業者との随意契約について

当初契約でソフトウェアを開発した業者との随意契約については、随意契約理由をいずれも著作権上の権利侵害の恐れがあるためとしているが、当初契約において成果物の著作権に加え、改変権の放棄を契約書上で記載しているのであれば、著作権上の権利侵害は起こりえないはずではないかと。契約書を見た上で確認をするべきである。

③ 随意契約案件の表の内容について

契約金額だけでなく、もう少し契約についての情報がなければ、その契約が適当なのか判断できない。次回資料から予定価格、落札率等の情報を入れるようにしてほしい。

(3) 一者応札・応募等事案のフォローアップについて

事務局から資料に基づき、平成25年10月1日から平成26年3月31日までに研究所が公告した案件のうち、前年度（複数年契約を行っている案件については前回契約）に引き続き一者応札・応募となった8件について、説明が行われた後、「一者応札・応募等事案フォローアップ票」の審議を行った。

(4) その他

- ・次回契約監視委員会の日程について

以上